

甲南大学法科大学院入学試験問題について

2018年度秋入学

社会人特別選抜入学試験（5月選抜・5月13日分）

試験科目：民法

1. 出題趣旨

契約の成立についての設問1に続き、設問2では民法94条2項についての基本的理解（虚偽表示の意義、「善意」、「第三者」の意義、同条項適用の効果）を問い、それをもとに設問3では、94条2項類推適用について問うた。ここでも、要件を抽象的に挙げるだけでなく、「善意」の意義など、基本的な理解が示されているかをみた。

2. 採点実感

論点自体が有名だからか、概ね良好な解答がなされていた。

3. 学習方法

当たり前のことであるが、必ず条文を出発点とし、その文言の意味を正確に捉えることを意識して教科書を読み込むということが大切である。